

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社かわでん

コード番号 6648 URL <http://www.kawaden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西谷 賢

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長

(氏名) 光藤 淳一

TEL 03-5714-4301

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	6,409	7.9	128	△10.3	108	△24.4	53	57.5
23年3月期第2四半期	5,939	△12.5	143	△61.5	143	△60.7	34	△82.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1,678.80	—
23年3月期第2四半期	1,066.16	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
24年3月期第2四半期	11,963		7,873		65.8	246,212.82		
23年3月期	12,113		7,915		65.3	247,531.07		

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 7,873百万円 23年3月期 7,915百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2,500.00	—	2,500.00	5,000.00
24年3月期	—	2,500.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2,500.00	5,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	1.9	210	△24.3	200	△25.2	100	22.5	3,127.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	41,920 株	23年3月期	41,920 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	9,942 株	23年3月期	9,942 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	31,978 株	23年3月期2Q	31,978 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災の甚大な被害により大きく落ち込みましたが徐々に持ち直しつつあります。しかし、米国及び欧州の財政不安による円高の影響など懸念すべき問題も多く依然として不透明な状況で推移しております。

当業界におきましては、民間設備投資は緩やかに持ち直しの動きがみられるとはいえ、公共投資と同様に極めて低水準で推移していることから、需給関係は改善されず、企業間の受注・価格競争はかつてない厳しい環境が続いております。

このような厳しい状況下で、当社は全社員一丸となり、更なる品質の向上と納期厳守及びお客様対応の充実も含め、顧客満足を最優先に全力を傾注し営業活動を展開いたしました。これにより売上高は6,409百万円（前年同四半期比7.9%増）となりました。

利益につきましては、製造販売一体となり生産効率向上に向けた改善活動の推進及び経費節減の徹底を図りましたが、価格競争の激化により、営業利益は128百万円（前年同四半期比10.3%減）、経常利益は108百万円（前年同四半期比24.4%減）となりました。四半期純利益については53百万円（前年同四半期比57.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

製品390百万円の増加があったものの、現金及び預金142百万円の減少、受取手形及び売掛金127百万円の減少などの結果、流動資産合計は前事業年度末比8百万円（0.1%）減少し、8,608百万円となりました。

（固定資産）

減価償却などによる有形固定資産118百万円の減少に加え、投資その他の資産34百万円の減少などの結果、固定資産合計は前事業年度末比141百万円（4.0%）減少し、3,354百万円となりました。

（流動負債）

買掛金61百万円の増加などの結果、流動負債合計は前事業年度末比1百万円（0.0%）増加し、3,271百万円となりました。

（固定負債）

長期借入金の1年以内返済予定額の振替により長期借入金101百万円の減少などの結果、固定負債合計は前事業年度末比108百万円（11.7%）減少し、818百万円となりました。

（純資産）

四半期純利益53百万円の計上があったものの、前事業年度の期末配当79百万円により利益剰余金が26百万円減少しております。これに加え評価・換算差額等のその他有価証券評価差額金15百万円減少の結果、純資産合計は42百万円（0.5%）減少し、7,873百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローで69百万円、投資活動によるキャッシュ・フローで109百万円の資金の増加があったものの、財務活動によるキャッシュ・フローで221百万円の資金の減少があり、前事業年度末に比べ42百万円（1.3%）減少し、3,101百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は69百万円となりました（前年同四半期は505百万円の増加）。これはたな卸資産の増加額349百万円などによる資金の減少があったものの、減価償却費150百万円、売上債権の減少額132百万円及び税引前四半期純利益108百万円の計上などによる資金の増加があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の増加は109百万円となりました（前年同四半期は29百万円の減少）。これは有形固定資産の取得による支出22百万円などによる資金の減少があったものの、定期預金の払戻による収入100百万円などによる資金の増加があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は221百万円となりました（前年同四半期は121百万円の減少）。これは長期借入金の返済による支出241百万円などがあったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年5月11日発表「平成23年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」における業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,243	3,101
受取手形及び売掛金	3,610	3,483
製品	774	1,165
仕掛品	251	235
原材料	288	262
繰延税金資産	298	283
その他	151	77
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	8,617	8,608
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,260	1,225
その他(純額)	1,343	1,260
有形固定資産合計	2,604	2,486
無形固定資産		
投資その他の資産	80	91
繰延税金資産	292	281
その他	548	528
貸倒引当金	△29	△32
投資その他の資産合計	811	776
固定資産合計	3,496	3,354
資産合計	12,113	11,963
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,650	1,712
短期借入金	400	500
1年内返済予定の長期借入金	366	225
未払法人税等	20	35
賞与引当金	172	136
その他	660	661
流動負債合計	3,270	3,271
固定負債		
長期借入金	259	158
退職給付引当金	656	648
資産除去債務	12	12
固定負債合計	927	818
負債合計	4,198	4,090

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,124	2,124
資本剰余金	1,481	1,481
利益剰余金	6,162	6,135
自己株式	△1,872	△1,872
株主資本合計	7,895	7,869
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19	4
評価・換算差額等合計	19	4
純資産合計	7,915	7,873
負債純資産合計	12,113	11,963

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,939	6,409
売上原価	4,541	5,058
売上総利益	1,397	1,351
販売費及び一般管理費	1,254	1,222
営業利益	143	128
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	1	2
受取賃貸料	4	4
その他	18	9
営業外収益合計	25	17
営業外費用		
支払利息	6	5
売上債権売却損	8	11
その他	9	20
営業外費用合計	25	37
経常利益	143	108
特別利益		
その他	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19	—
その他	0	0
特別損失合計	19	0
税引前四半期純利益	124	108
法人税、住民税及び事業税	32	23
法人税等調整額	57	31
法人税等合計	90	54
四半期純利益	34	53

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	124	108
減価償却費	173	150
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	2
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10	△7
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	△36
受取利息及び受取配当金	△3	△3
支払利息	6	5
売上債権の増減額(△は増加)	438	132
たな卸資産の増減額(△は増加)	△28	△349
仕入債務の増減額(△は減少)	149	61
未払消費税等の増減額(△は減少)	10	18
その他の資産の増減額(△は増加)	△18	34
その他の負債の増減額(△は減少)	△283	△40
その他	△0	6
小計	599	84
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△6	△5
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△90	△12
営業活動によるキャッシュ・フロー	505	69
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19	△22
無形固定資産の取得による支出	△8	△7
会員権の償還による収入	—	40
定期預金の払戻による収入	—	100
その他	△0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29	109
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	100
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△141	△241
配当金の支払額	△79	△79
財務活動によるキャッシュ・フロー	△121	△221
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	355	△42
現金及び現金同等物の期首残高	3,384	3,143
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,739	3,101

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。